

【プログラム1：聞いて！話して！ 友達のこと、自分のこと】

☆ねらい：話題シートを用いて自分を紹介し合うことを通して、お互いを知り、豊かな人間関係を築くきっかけとする。

《プログラムの概要》

キーワードの例	コミュニケーション
時 間	25分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	サイコロ、話題シート（それぞれグループ数）、ワークシート（グループ数）
主な活動	①さいころトークで自己紹介をする。 ②自分たちのグループのことを紹介する。 ③活動の感想等を全体に紹介する。
気を付けること	<ul style="list-style-type: none"> ○話せる範囲で話すことよいことを説明し、安心感をもって参加できるようにする。 ○全員が同じように話すことができるようにする。 （例：話す時間は1回につき約30秒程度と決める等） ○「聴くとき」の説明をする。 （例：相手を見る、うなずく、微笑む、否定しない、あいづちを打つ等を取り入れながら聴く） ○話題シートの話題は、活用場面や時期、生徒の実態に応じて変更して用いると効果的である。その際、不適切な表現や質問にならないように十分配慮する。 ○就職差別につながるおそれがある質問に対して、「答えられません」ということがあることを、進行役は理解しておくとともに、必要に応じて生徒に考えさせる場としてもよい。その場合は、まとめに用いる言葉も付け加えることが大事である。
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ○新入生研修や新学期、長期休業日明け、席替え等の機会（生徒間の親睦を深めたい時）に活用するとより効果が高まる。 ○生徒間の自己紹介や友達関係を広げる手法としては、本プログラムの他に、すごろくやカードを使って展開を進める方法がある。 ○心理の分野では、「自分の知ってる自分」「（自分の知らない）人から見た自分」「自分は知っている。でも、人は知らない自分」等の分類もあるが、まずは、生徒間で、「自分を知ってもらう、友達のことを知る」きっかけづくりの活動なので、あまり深入りはしないようにする。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】 内容（2）イ オ 【中学校 学級活動《現》】 内容（2）イ オ 【中学校 学級活動《新》】 内容（2）ア ウ